

平成30年5月17日

関係各位

名古屋市美術館  
館長 早瀬 弘親

愛知県美術館  
館長 南 雄介

## 名古屋市美術館常設展

### 郷土の美術「名古屋のパフォーマンス 追悼岩田信市と岸本清子」関連企画

#### 上映会を開催します。

#### 1. 趣旨

名古屋市美術館では、愛知県美術館の協力のもと、現在開催中の常設展の関連企画として上映会を開催いたします。

現在「郷土の美術」のコーナーでは、「名古屋のパフォーマンス 追悼岩田信市と岸本清子」と題し、名古屋を代表する二人の芸術家の作品を紹介しています。

岩田信市（いわたしんいち 1935-2017）は1960年代に名古屋で活動したパフォーマンスの集団「ゼロ次元」の中心的なメンバーであり、画家であり、さらには1979年にはロック歌舞伎で知られる「スーパー座」を立ち上げ、30年にわたり演出家として活躍し、昨年8月に逝去されました。岸本清子（きしもとさやこ 1939-1988）は、岩田信市と親交があり、同様に1960年代に東京で起こった前衛芸術運動「ネオ・ダダ」に参加し、後に名古屋でパフォーマーとして、画家として活躍しました。この二人の芸術家は、ともに名古屋に生まれ、名古屋で活動し、強烈な個性を持って当時の社会を見つめ、また前衛的な活動を展開しながらも絵画という伝統的なメディアで表現し続け、また大衆の中に存在する芸術を目指しました。

この展示に合わせ、岩田信市が制作した映像作品や岸本清子のパフォーマンス活動をご紹介するために、関連催事として2日間の上映会を開催いたします。この上映会は岩田信市の絵画と立体を所蔵している名古屋市美術館と映像作品を所蔵している愛知県美術館の共催で開催いたします。

#### 2. 日時

6月23日(土)、24日(日) いずれも14時～16時

#### 3. 場所等

名古屋市美術館2F 講堂 定員180名 先着順 **入場無料**

#### 4. 主催

名古屋市美術館、愛知県美術館

#### 5. 協力

スタジオイデミツ

## 6. プログラム内容

一日目は、愛知県美術館学芸員越後谷卓司の作品解説とともに映像作品を紹介いたします。二日目には岸本清子がパフォーマンスしている姿が収録された出光真子の作品をはじめ女性アーティストとしての表現を切り開いてきた作家たちの映像作品を紹介します。詳細は別添ちらしのとおり。

## 7. 名古屋市美術館常設展「名品コレクション展 I」

エコール・ド・パリ：フランスで描く

メキシコ・ルネサンス：ガイコツ（生ける屍）たちの饗宴—ポサダの芸術

現代の美術：収集熱—集めて、分類して、見せる

郷土の美術：名古屋のパフォーマンス—追悼岩田信市と岸本清子

特集：北川民次とメキシコの教え子たち

会期：[前期]2018年4月25日～7月1日 [後期] 7月28日～9月24日 ※ただし特集は7月1日まで

入場料：一般300(250)円、高大生200(150)円、名古屋市在住の65歳以降の方100(80)円、小中生無料

※（ ）は30名以上の団体

※ 身体等に障害のある方は手帳の提示により付添者2名まで無料で常設展をご覧いただけます。

### 取材・事業内容についての問い合わせ

ご掲載記事について、日時・会場・電話番号などの基本情報確認のため、ゲラ刷りを次までお送り頂きますようお願いいたします。

名古屋市美術館担当：笠木 電話：052-212-0001 FAX 052-212-0005

愛知県美術館担当：越後谷 電話：052-971-5511 (代) FAX:052-971-5604